

ももたろう基金～「平成30年7月豪雨災害支援基金」～

第6次(災害支援・復興)助成金申請書

【団体情報に関すること】

※本用紙に記載の個人情報は、本事業の実施にのみ使用します。

ふりがな	あろませらびすとち むおかやま		
団体名称	アロマセラピストチーム岡山		
代表者職名	代表	ふりがな	あんどう なおみ
		代表者氏名	安東 尚美 ⑩
ふりがな	おかやまけんおかやましきたくさいわいちょう		
団体住所	岡山県岡山市北区幸町		
電話番号	—	FAX	—
設立年もしくは活動年数	2018年発足		
スタッフ数	有給スタッフ _____ 名・無報酬スタッフ <u>2</u> 名・ボランティア等 <u>20</u> 名		
団体HP(あれば)	なし		
FBページ(あれば)	あり 現時点では非公開にしていますが活動内容・報告を随時挙げています。		
CANPAN登録	○なし ・ あり (星 つ) 【団体ID: _____】		

申請事業の内容

事業種類・内容 該当する活動に○をつけてください。	① 災害支援・復興活動(真備エリア)    2. 災害支援・復興活動(県内各地)
事業名 (もしくは事業概要)	アロマセラピストチーム岡山 アロマセラピー、ハーブ療法で西日本豪雨災害の被災者の皆さまの心身のサポートをすることで復興支援ができればお願い NARD アロマセラピー協会のアドバイザー、セラピストの有資格者によって構成。
活動(予定)期間	平成 30 年 11 月 1 日 ~ 平成 32 年 11 月 31 日
活動(予定)場所	倉敷市災害復興支援センター 倉敷市真備町川辺地域交流施設「あるく」
受益者数	直接受益者 ( _____ 名) 間接受益者 ( _____ 名) ※いる場合

## 事業の必要性（背景）と目指すゴール（目指す状況）

- ・現状や支援対象者の状況（支援対象者との現在の関係性についても必要に応じて記入）
- ・事業を実施することで被災地や被災者がどのような状況になることを目指すのか

支援対象者；被災者及びボランティア活動をされておられる方々

現状；①2018年8月より、化粧水として全身にお使いいただけるクレイ入りハーブウォーターを作成して、直接の知り合いの被災者の方々や山陽ハイツさんへ届けております。山手公民館でのボランティア活動の際にも提供。

ハーブウォーターは今後も継続して作り、被災者の皆さまに届けていく予定です。

②日本アロマセラピー学会、および HuMA 災害人道医療支援会と連携して、ハンドマッサージとハーブティをお出しするサロンを展開

活動実績 8月25日 菌小学校（日本アロマセラピー学会 HuMA 災害人道医療支援会と連携）

9月16日 山手公民館

9月22日 山手公民館（日本アロマセラピー学会と連携）

10月4日 総社中央公民館

10月27日 倉敷市災害ボランティアセンター（日本アロマセラピー学会 HuMA と連携）

11月17日 倉敷市災害ボランティアセンター予定 //

12月15日 倉敷市真備町川辺 あるく」 予定 //

③西日本豪雨災害被災者・支援者を元気づける会に参加 10月28日 山陽ハイツ

事業を実施することで被災地や被災者がどのような状況になることを目指すのか

① アロマセラピー、ハーブ療法によって被災者の皆さまやボランティアの皆さまの心身のサポートする。

これまでの経験から、私たちセラピストには、医療従事者の方とは違う親近感をもって話しかけてくださることが多いのです。傾聴することで被災者の方のストレス解消、健康把握を目的としています。

急性期の緊張状態からの疲労度は計り知れません。肩や腕、足の疲れなど肉体疲労、便秘や消化不良など内臓をはじめとする体の不調、長引くストレスやこれから先の不安などの精神疲労を把握し、状況によっては連携して活動されている医療チームにお繋ぎしていきます。

② ハーブティをお出しするサロンを開催して、コミュニケーションの場を設けたい。

長期・定期的で開催することでコミュニティ作りができ、真備町の復興活性の場となってほしいと考えます。

日本アロマセラピー学会、HuMA 災害人道医療支援会と連携して活動することで、健康相談や診断が受けられます。医療従事者とセラピスト双方の役割を活かした支援になると思います。

先日の倉敷災害ボランティアセンターでの活動は、ボランティアの方々へのサポートができました。筋肉疲労や精神疲労を解消することで、ボランティア活動を長期にわたって支援することができると思います。

## 事業の実施内容

・どのようなことをいつ（回数等）やるのか

・実施内容； アロマトリートメント（ハンド、フットなど）。

アロマトリートメントをしながら傾聴。コミュニケーション

ハーブティをお出しするサロン

クレイ入りハーブウォーターの配布

・実施回数； 月2回程度

土、日の何れか 1 回は日本アロマセラピー学会 HuMA 災害人道医療支援会と連携

平日 1 回は アロマセラピストチーム岡山単独

### 事業の実施体制

- ・事業実施にあたり、自団体の取り組みメンバーや連携先の団体など

私たちは NARD アロマセラピー協会の有資格者でこのボランティア活動のために急遽結成した団体で、現在約 20 名が在籍しています。(アロマセラピーは自然療法で、専門知識がないと危険な場合があります。解剖生理学や精油の知識がある専門家が集まっています。)

- ・ナードアロマセラピー協会は、安全で有効な自然療法を実践することを前提としたアロマセラピーの協会になります。日頃はそれぞれ各自でアロマセラピーの教室やサロン、イベントなどで活動しております。
- ・今回の豪雨災害を受けて、何かお役にたきたいという思いが強く団体結成をいたしました。既存の大きな団体ではないので、オイルなど基材は全て個人の持ち出しとなります。基金による助成をしていただけると大変助かります。

### 事業実施後の展望

- ・助成期間後も活動を継続す場合はその内容や展望
- ・助成期間をもって事業終了の場合は、その後の支援対象者の状況

・2年間を目安として活動していきたいと思います。助成期間終了後、あらためて継続かもしくは地域でのサポート体制に移行していくことを検討したいと思います。

### その他

- ・その他事業実施にあたり、特に必要なことや P R

・アロマセラピーは精油を用いた自然療法となります。自然の香りは一瞬にして心と身体の緊張をほぐします。

リラックスすることによって イライラを抑えたり 安眠や消化促進といった生理作用にも影響を及ぼします。筋肉痛や便秘などの不快症状の緩和も期待できます。

精油には抗菌作用があり、感染症予防に有効であったり、免疫刺激作用も認められており、予防医学としても注目されている療法です。

トリートメントをする時間は傾聴の時間にもなります。行政でもなく医療従事者(治療)でもない私たちと、なんの目的もなくおしゃべりができることを嬉しいと言ってください。傾聴することで心にたまっていたいろいろな想いを吐き出す時間になります。また子供から高齢者まで施術できます。子供たちに施術したとき、「お母さんが疲れている」お母さんに「してあげたい」といった子供たちの声が印象的でした。

アロマセラピーやハーブ療法は代替療法としても認められていますが、それだけに専門知識も必要となります。

NARD アロマセラピー協会は専門性も高く、資格も簡単には取得できません。その有資格者のアロマセラピストチームは安全で有効なセラピー実施が可能となります。日本アロマセラピー学会、HuMA 災害人道医療支援会から連携の要望があったことから信頼性が高いことを示してくださっていると思います。メンバーはそれぞれ高い意識と復興支援の想いを強くもって参加しております。ぜひともよろしく願い申し上げます